



平成23年10月13日

各 位

上場会社名 津田駒工業株式会社
代表者 代表取締役社長 菱沼 捷二
(コード番号 6217)
問合せ先責任者 常務取締役総務部長 富井 裕次
(TEL 076-242-1111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年7月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年11月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,400	1,000	1,000	900	14.08
今回修正予想(B)	42,000	700	550	450	7.04
増減額(B-A)	△2,400	△300	△450	△450	
増減率(%)	△5.4	△30.0	△45.0	△50.0	
(ご参考)前期実績 (平成22年11月期)	32,688	△1,057	△1,131	△1,151	△18.00

平成23年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	43,600	800	800	800	12.51
今回修正予想(B)	41,000	500	400	350	5.48
増減額(B-A)	△2,600	△300	△400	△450	
増減率(%)	△6.0	△37.5	△50.0	△56.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年11月期)	31,843	△1,099	△1,141	△1,166	△18.25

修正の理由

(連結)

通期の業績予想に関しましては、円高と中国政府による金融引き締めの影響を受けざるを得ないと判断しております。繊維機械事業では、中心市場であります中国での金融引き締めによるL/C開設の遅れにより、生産、売上の水準は当初の予想に至らない見込みであります。それに伴い、損益面においても第4四半期にかけて厳しさを増してくると予想しております。

工作用機器事業では、引き続き受注環境は堅調に推移すると予想されます。しかし、価格競争の激化などから採算面は大きく悪化しており、第4四半期についても損失の計上を余儀なくされる見込みであります。

この結果、全体では売上高は42,000百万円と当初予想比減少となり、営業利益は700百万円、経常利益は550百万円、当期純利益は450百万円に下方修正しております。

(個別)

業況については上記に記載の通りであります。

通期の業績予想につきましては、売上高は41,000百万円と当初予想比減少となり、営業利益は500百万円、経常利益は400百万円、当期純利益は350百万円に下方修正しております。

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上